

外洋常任委員会（2026/7/20）議事概要

1. 外洋常任委員会の役割と今後の方向性

- **現状と課題：** 会員数の減少や外洋艇グループの歴史的経緯を踏まえ、現在の体制・方向性の見直しが必要。
- **今後の方針提案：** 「外洋常任委員会の運用について」という提案書について議論がなされ、レース活動の推進に加え、「レース活動を推進しつつ、ディンギーから外洋艇へのシームレスな移行を含めたヨットによる様々なセーリング活動を幅広く支援し、外洋セーラーの楽しみを増やすこと」（一部P.N.）という方針について理解を共通化した。
- その他、以下のようにセーリングの指導、ディンギーからの移行、First AID教本、0 SRの啓発・教育活動など様々な点を議論した。
- 今後の委員会では、外洋加盟団体とのコミュニケーションを更に図るために各地域からオブザーバーに入ってもらおうことを考えている。また、各専門分野からのオブザーバー参加の検討している。
- 事務局長として葛川大助さんが選任された。

2. レース・セーリング活動の推進と指導体制

- **現状の参加状況：** 外洋東海の事例では登録艇100艇中、主要レースに参加しているのは20～30艇程度。
- **国際化と育成：** 外洋セーリングの国際化と若手育成が重要。国際レースの開催拡大の提案があった。
- **ステップアップ支援：** クラブレースから上位ステップへ引き上げるための支援システムが不足しており、適切な指導を受けられない現状を改善する必要がある。
- **指導体制・新規層の集客：** スキー業界の指導体制を参考に指導者育成の重要性を確認。また、多くの艇を呼び込む手段としてラリーイベント等を検討したい。

3. クルーザー活動の拡大と若手・新規参加の支援

- **学生の課題：** 大学での活動を卒業した学生が卒業後にクルーザーに乗る心理的・環境的ハードルが高い。
- **拡大施策：** 底辺拡大のために、クルー募集のマッチングサービスなど、より多くの人々がセーリングを楽しめる仕組みづくりを推進する。

4. セーリングコミュニティ拡大と環境整備

- **普及・教育施策：**
 - ✓ ファーストエイド講習の普及、レースオフィシャル研修の実施（海外事例の参照）。

- ✓ 低体温症事例やワールドセーリング教育プログラムの翻訳を通じた基本知識の周知。
- **コミュニティ形成：** 地域クラブレースでの子供たちの参加促進や、ボランティア活動を活用したコミュニティ拡大。

5. ファーストエイド・安全体制およびクラブモデルの改善

- **実用的なファーストエイド：** 従来のOSR (Offshore Special Regulations) のカテゴリー枠にとらわれず、現場で真に必要な「低体温症」「熱中症」「止血方法」等に特化した講習・指針の策定を提案。人的なリソースを確保できるようにしたい。
- **安全委員会の現状：** OSRの2年毎の改定に対応している。また、依頼があれば講習会も開催しているが、人的なリソースの拡大が望まれる。
- **海洋レジャーの枠組み拡大：** 欧米ヨットクラブを参考に、セーリング（キールボートとディンギー）とモーターボートの垣根を取り払った大きな枠組みづくりを外洋常任委員会主導で検討（日本の現状に即した形を模索）。

6. 外洋登録事務局の課題と組織改革

- **組織課題：** 事務局の組織力低下と加盟団体の今後についての検討が必要。
- **地域連携の強化：**
 - 外洋常任委員会に各地域・専門領域のオブザーバーを選定して、外洋常任委員会と各加盟団体とのコミュニケーションを活発化させ、また、サポートと強化を図る。
- **規約・コンプライアンス：** 外洋加盟団体長会議の決議が外洋艇推進グループの意思決定となる現行内規に対し、JSAF内でのコンプライアンス上の課題が指摘されている。そこで、なるべく早急に実態にも配慮した形で内規改正を提案する予定。

7. 学生セーラーの将来支援（具体的なイベント提案）

- **「追い出しコンパ」マッチングイベント（新田提案）：**
 - ✓ **日時・場所：** 11月14日 17:00～ / 湘南港（江の島）
 - ✓ **目的：** 卒業する学生を集め、外洋セーラーや艇オーナーとのマッチングを図る。
 - ✓ **要望：** 関東の外洋系加盟団体への広報協力。
- **対応・今後の展開（平井）：** 提案を全面的に支持し、全国の外洋加盟団体へも情報を共有。P.N. 新田理事に対応の司令塔となっていただくことでご理解を頂いた。併せて、ラリーイベントや「準会員制度」の導入検討にも言及。

8. 外洋艇の仲間を増やすプロジェクトの提案（具体的なイベント提案）

- **関東から九州にかけてのラリーの提案（平井提案）：**
 - ✓ **日時：** 2027年
 - ✓ **目的：** クルージングが好きな、でもレースに近いイベントに参加したい人々を募

って、複数の加盟団体が関係するプロジェクトを開催する。これにより、外洋艇の仲間を増やすこと及び加盟団体間のコミュニケーションの活発化を図る。

✓ **要望：**具体的な内容について関係者と協議を始める。

- **準会員制度（名称は要検討）（平井提案）：**NORC時代の会友艇、或いはクルージングや長距離航海の好きなセーラーに向けた会員を創設し、これらの艇にセールナンバーを付けてもらうように啓発し、かつ会費収入を増やしたいと考えている。

以上